

令和8年度 北海道中学校体育大会 剣道大会における熱中症防止対策 及び競技進行が困難な場合における代表選手・チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が 31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の 17 時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技の基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【剣道大会に関わる熱中症防止対策】

●競技が進行できない場合の代表選手・チームの選出方法
別紙参照

R8 全道大会における熱中症防止対策と競技進行困難による代表選手決定方法

≪ 競技の中断・中止の判断について ≫

◆判断基準 / WBGT(暑さ指数)31℃以上、熱中症特別警戒アラート発令

◆連絡・公開方法 / 北海道中学校体育連盟 HP・大会会場での連絡

【 暑さの上昇により時間短縮を考慮しなければならない場合 】

◎大会長・審判長・北海道剣道専門委員長・実行委員長等と検討し、一時的な中断、試合方法の変更、または抽選による代表選手選考に切り替えるかを判断する。

【 試合方法 】

≪団体戦≫ ・リーグ戦 → トーナメント戦に変更する

≪個人戦≫ ・3分 → 延長1回 → 判定

〔 判定基準について 〕

『 全日本剣道連盟 剣道の試合・審判のルール〜』

・ 第1節 試合事項 第7条 「 勝敗の決定 」

5. 判定により勝敗を決定する場合には、技能の優劣を優先し、
次いで試合態度の良否により判定する。

※技能の優劣とは…有効打突に近い打突を優先とする。

(1) 公開抽選(時間短縮を判断した時点)→ 『 トーナメント戦 』 ※キャプテンが抽選を行う

◎試合順番等を確認して会場・選手・審判の準備を整える

(2) 競技の順番 ・団体戦→個人戦終了まで

※試合途中で熱中症特別警戒アラートが発令された場合は、その試合で中止とする。

その時点で勝ち残っている選手で抽選を行い、団体、個人戦ともに代表を決定する。

≪ 7月25・26日(土日)の両日の競技進行ができない場合 ≫

(1) 特別警戒アラートが発令された場合は、

『 団体戦・個人戦共に抽選を行って代表を決定する 』

(2) 個人戦の代表選手決定方法は、各地区1位の選手のみ抽選を行い、2名の代表者を決定する